

事業報告

1. 概要

私たちの生活や地域経済に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は減少傾向にあるものの、規制緩和と感染の増加が繰り返され、社会経済情勢にもまだまだ影響を残しています。

当シルバー人材センターにおいても、安全就業を第1に感染症対策を講じながら状況に応じた取り組みを進めました。

元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められており、その役割は非常に重要なもので、シルバー人材センターは、地域の高齢者の活躍を支え、生涯現役社会実現のためにも必要不可欠な存在となっています。

しかし、企業においては70歳までの継続雇用を努力義務とするなど、高齢者雇用安定法の改正によって雇用情勢が変わり、60歳代会員の激減、会員の高齢化と減少傾向は、シルバー人材センター全体の深刻な問題となっています。

シルバー人材センターの安定的な事業運営を図るためには、会員の入会促進と就業機会の確保・拡大が急務です。そのためセンター自体の認知度・印象度の向上と、センター事業に対する理解を深めていただけるよう、会員募集のポスター、幟、マグネットシートなどの掲出やチラシの各戸配布等普及啓発活動に努めました。

また、会員の就業の拡大・拡充を図るため技能講習会を行い、また、安全衛生委員会による安全パトロールも実施しました。

高齢者が身近な地域で安心して働き続けることができる組織・地域づくりを推進するためにも、引き続き多様な就業機会の確保と提供に尽力していきます。

事業実績では、会員皆様のご理解・ご活躍と、一般家庭並びに王寺町をはじめ関係機関のご支援ご指導のもと、入会の促進と就業機会の確保に努力してまいりましたが、請負契約金額86,220千円、前年比88.6%で、11,040千円の減となりました。その主な原因は、会員の高齢化と減少による

就業機会の減によるものです。一方、派遣事業では契約金額 6,136 千円となり、前年度 5,943 千円に対して 19 万 3 千円、率にして 3.2%の増となりました。今後はより一層の普及啓発活動で新規会員の確保と就業機会の開拓に邁進し、事業の拡大に努めてまいります。